

彦根市子ども・若者プラン 計画目標値・実績値

資料3(差し替え)

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値						令和4年度		令和4年度実績値等に対する担当課意見	
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況		
1 子ども・若者の健やかな育ちに向けたまちづくり													
1	◎彦根市子ども・若者総合相談窓口の相談者数(延べ人数) 【4】【5】	少年センター	590人	800人	1,086人	1,359人	758人				94.8%	△	【実績値に関する意見】 内訳は、総合相談延べ635人、カウンセリング延べ123人。前年度と比較して延べ人数が少ないのは、主に相談件数のカウント方法の違いによるものである(令和4年度少年センターへの統合に向けて引継ぎを進める中で、子ども・若者総合相談センターの相談件数カウント方法が現在の相談件数カウント方法と異なることが判明)。 【実績値以外の事項に関する意見】 総合相談を受けた若者や家族を対象にしたサロン利用者延べ402人、家族サロン利用者延べ15人。また、相談対象者の状況に応じて随時あすくる彦根と連携した支援を実施した。今後もあすくる彦根や関係機関、学校等と連携して支援の充実を図っていく。
2	彦根市子ども・若者総合相談窓口の相談者数(実人数) 【4】【5】	少年センター	70人	100人	77人	89人	109人				100.0%	○	【実績値に関する意見】 内訳は相談対象の年代別に幼児2人、小学生10人、中学生17人、高校生18人、大学生5人、10代14人、20代33人、30代5人、40代以上・年齢不明5人。不登校やひきこもりの相談が多く、特に高校・大学の中退や離職後にひきこもりがちになった20代の相談が多い。 【実績値以外の事項に関する意見】 高校等の中退からひきこもるケースを防ぐため、あすくる彦根と連携して高校や養護学校への訪問(11校)を実施し、中退前の連携に努めた。今後もあすくる彦根や関係機関、学校等と連携して支援の充実を図っていく。
3	博物館体験学習参加実人数 【21】	彦根城博物館	5人	80人	-	36人	60人				75.0%	△	【実績値に関する意見】 目標値は2つのイベントの参加者を足したもので、それぞれ定員は40名。 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を考慮し、「わくわく体験スクール」については定員を30名に設定したこと、また、「キッズサマースクール」については当日欠席者が複数いた影響もあり目標値には届かなかったが、それらの影響がなければ、目標値に達していたと考える。 【実績値以外の事項に関する意見】 「キッズサマースクール」、「わくわく体験スクール」いずれも定員を大きく超える申し込みがあり、イベントへの関心の高さを感している。
4	子ども文芸作品応募数 【23】	文化振興課	5,093点	7,000点	7,778点	8,378点	6,870点				98.1%	△	【実績値に関する意見】 令和4年度は応募にあたり、DX化推進のため、一部の部門(詩)および学年を除いて児童・生徒の学習者用端末からの応募方法に変更した。変更初年度ということもあり、応募数の減少に繋がった可能性はあるが、周知・啓発を継続し、目標を達成できるよう努める。 【実績値以外の事項に関する意見】 作品の募集については、市内の小・中学校(県立学校も含む)すべてに依頼をし、特に市立学校については各校の国語科主任と連携し国語科の授業の一環等で取り組むことにより事業実施についての周知を行っている。学習者用端末での応募について更なる理解を求め、文芸人口の増加を目指す。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値						令和4年度		令和4年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況		
5 図書館の未就学児の登録者数 【24】	図書館	840人	1,000人	742人	727人	726人				72.6%	▼	<p>【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染対策のため、閲覧用の椅子を減らすなどの利用制限、おはなし会の募集人数の制限などの影響により、登録者数が減少した。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 図書館を安心・安全に利用してもらえるよう感染対策を行いながら開館し、市内の感染状況を考慮し、十分に感染対策を行いながら、展示、おはなし会やブックスタートのつどいを実施し、魅力ある図書館づくりに努めた。登録率は前年度同水準を維持した。(令和5年3月末住民数 5,794人 12.5% 令和4年3月末住民数6,117人 12%) 今後も登録者数の増加に繋がるよう、展示やイベントの情報発信に努める。</p>
2 子ども・若者の育ちに応じたまちづくり												
6 地域子育て支援センターの整備 【34】【35】【39】	子ども・若者課	3か所	4か所	3か所	3か所	4か所				100.0%	○	<p>【実績値に関する意見】 三津町の認定こども園ひかりの森内に地域子育て支援センター「さんさんひろば」を新たに開設し、彦根市子ども・若者プランで掲げていた地域子育て支援センターを4か所開設するという目標を達成することができた。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 新型コロナウイルス感染症予防対策のため利用者の人数制限を行っていたが、令和3年度よりも警戒ステージレベルは全体的に低く、ウィズコロナの浸透もあり、令和3年度に比べて利用者数が増加した。</p>
7 保育所待機児童の解消 【47】【50】【51】	幼児課	29人	0人	56人	9人	1人				0.0%	△	<p>【実績値に関する意見】 新設園の開設による量的拡充とAIによる入所審査により、第1希望への入所率が上がると同時に待機児童数が減少した。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 令和5年度からの利用定員拡大に向け、新設園の整備事業費に対し積極的に補助を行った。</p>
8 利用児童数(2号、3号)	幼児課	2,739人	3,057人	2,787人	2,816人	2,848人				93.2%	△	<p>【実績値に関する意見】 新設園の開設により量的拡充を行った結果、利用児童数が増加した。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 令和5年度からの利用定員拡大に向け、新設園の整備事業費に対し積極的に補助を行った。</p>
9 保育士数	幼児課	719人	834人	747人	754人	781人				93.6%	△	<p>【実績値に関する意見】 新設園の開設と、保育士の離職防止に向けた取り組みによる退職者の減により、保育士数は増加となった。</p> <p>【実績値以外の事項に関する意見】 保育人材確保に向けた取組として、保育士フェアの開催や園長を対象とした人材マネジメント研修を実施したほか、奨学金返済支援事業を進めた。また、コロナ収束を見据え、県内養成校を訪問し、今後の事業連携を模索した。</p>

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値						令和4年度		令和4年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況		
10 児童生徒の全国学力学習状況調査 における正答率の全国平均との差 (小学校) 【55】【56】	学校教育課	-1.1%	0.6%	-	-2.5%	-0.9%				98.1%	△	【実績値に関する意見】 各校で取組を進めたが、全国平均との差を縮めること至らなかった。しかしながら、令和3年度の数値と比較すると全国平均に迫ることができている。各校で、全国学力学習状況調査問題を分析し、授業改善に取り組んできた成果が見られている。また、学ぶ力向上推進リーダーが各校で、確かな学力の向上に向けた取組を牽引した成果とも考えられる。 【実績値以外の事項に関する意見】 第Ⅲ期彦根市学力向上推進プラン、通称「学び実感ひこねプラン」を策定し、「目標達成のための3つの視点」と「目標達成のための10の力点」について明確化した。「学び実感ひこねプラン」と各学校の実態に応じて、「学ぶ力向上策」を運動させて作成したことによって、学校全体が同じベクトルで学力向上に向けての取組を進められるようになってきている。次年度も継続して取り組むことで、児童の確かな学力の育成を図る。
11 児童生徒の全国学力学習状況調査 における正答率の全国平均との差 (中学校) 【55】【56】	学校教育課	-1.8%	0.6%	-	-1.4%	1.8%				100.0%	○	【実績値に関する意見】 全国平均を上回ることができた。各校で、全国学力学習状況調査問題を分析し、授業改善に取り組んできた成果と考えられる。また、学ぶ力向上推進リーダーが各校で、確かな学力の向上に向けた取組を牽引した成果とも考えられる。 【実績値以外の事項に関する意見】 第Ⅲ期彦根市学力向上推進プラン、通称「学び実感ひこねプラン」を策定し、「目標達成のための3つの視点」と「目標達成のための10の力点」について明確化した。「学び実感ひこねプラン」と各学校の実態に応じて、「学ぶ力向上策」を運動させて作成したことによって、学校全体が同じベクトルで学力向上に向けての取組を進められるようになってきている。次年度も継続して取り組むことで、児童の確かな学力の育成を図る。
12 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点(小5男子) 【56】	学校教育課	55.24点	56.00点	-	52.00点	50.64点				90.4%	▼	【実績値に関する意見】 コロナ禍において、全国的に児童の体力は低下傾向にあるが、令和4年度における彦根市の体力低下は全国や県と比べても大きく低下している。ソフトボール投げのみ、平均値(県・全国)を上回ったが、それ以外の種目においては平均値(県・全国)を下回った。 【実績値以外の事項に関する意見】 スクリーンタイム(=スマホ、PC、TVなどの使用に費やされた時間)が多い傾向が見られる。この割合は、男子が特に高い。
13 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点(小5女子) 【56】	学校教育課	56.30点	57.00点	-	53.64点	51.51点				90.4%	▼	【実績値に関する意見】 男子と同様、コロナ禍において、全国的に児童の体力は低下傾向にあるが、令和4年度における彦根市の体力低下は全国や県と比べても大きく低下している。8種目全種目で平均値を下回った。 【実績値以外の事項に関する意見】 女子についても、スクリーンタイム(=スマホ、PC、TVなどの使用に費やされた時間)が多い傾向が見られる。
14 ◎彦根市子ども・若者支援地域協議会 実務者会議の参加団体・機関等数 【3】【81】【82】	子ども・若者課	31団体	40団体	38団体	49団体	33団体				82.5%	△	【実績値に関する意見】 例年代表者会議1回、実務者会議を3回開催していたが、令和4年度については実務者会議を2回、個別ケース会議を1回開催したことから、昨年度よりも参加団体が減数したものの、当該対象者に対する支援方針の策定や役割分担の決定等を行うことができ、実りある会議を開催できた。 【実績値以外の事項に関する意見】 昨年度実施した当事者へのアンケート調査結果に基づき、就労体験の機会やSNSが利用できる支援の充実について検討する中で、軽作業などの中間的就労の開拓や、当事者が利用しやすい支援機関の情報発信方法について話し合った。また、情報共有するためには、当事者だけではなく支援者同士の交流の場の機会を作る必要性を感じた。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値	実績値						令和4年度		令和4年度実績値等に対するの担当課意見
				令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
3 みんなが共に育つために子ども・若者を支援するまちづくり												
15 家庭相談件数(実人数) 【87】【88】【90】	子育て支援課	766件	947件	838件	964件	972件				100.0%	○	【実績値に関する意見】 相談件数は想定を上回るペースで増加している。これは、市が行っている家庭児童相談の認知度上昇による他機関からの紹介件数の増加に加え、SNSトラブルや自傷行為の低年齢化など、子どもをとりまく新たな課題が増加していることも一因であると考えられる。 【実績値以外の事項に関する意見】 相談者が抱える困難は複数の要因が複合しているものが多く、その対応には職員の資質向上、多機関連携に加え、新たな支援策の研究も必要と考える。
16 ひとり親家庭への就労支援による就職件数 【116】【117】	子育て支援課	14件	20件	13件	4件	10件				50.0%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症の影響により児童扶養手当の現況届を郵送で受け付けていた対応を、令和4年度は原則窓口での受付に変更したことで、前年度と比較して実績数が増加したが、依然とひとり親家庭の雇用状況は深刻な状況が続いている。 【実績値以外の事項に関する意見】 プログラム策定員による就労相談を実施し、ハローワークとの連携や資格取得の支援を行うことで就労につなげていきたい。
17 ◎地域での子どもの居場所の整備 (学べる場・子ども食堂) 【129】【197】	子ども・若者課	9か所	24か所	24か所	26か所	28か所				100.0%	○	【実績値に関する意見】 内訳：現在活動中の団体としては、学べる場11か所、子ども食堂17か所の計28か所あり目標値には達成しているが活動地域に偏りがあり、子どもの居場所の無い小学校区についての居場所の開拓については、引き続き実施していく必要があると考えている。 【実績値以外の事項に関する意見】 物価高騰の影響により、子ども食堂等を開催するなかで表面化していない貧困世帯の増加も把握できた。子どもや若者を継続して支援できる仕組みづくりのために、地域の企業や施設との連携、ネットワークづくりの重要性を感じた。
4 子ども・若者と子育て家庭にやさしいまちづくり												
18 夜9時までに寝ている3歳児の割合 【150】【180】	健康推進課	54.6%	59.0%	50.2%	52.9%	49.2%				83.4%	▼	【実績値に関する意見】 乳幼児健康診査で、「規則正しい生活リズム」の啓発チラシを配布した。併せて、必要な方へメディアの視聴時間(ブルーライト)と睡眠との関連についてお伝えし、保護者と共に、生活リズムを見直す機会とした。 【実績値以外の事項に関する意見】 今後も乳幼児健康診査だけではなく、園を通じての健康教室、乳幼児個別相談、離乳食教室など様々な機会を通じて、生活リズムについての啓発をしていく。
19 むし歯のない3歳児の割合 【150】【180】	健康推進課	84.7%	90.0%	89.6%	89.0%	91.9%				100.0%	○	【実績値に関する意見】 幼児健診で歯科健診、歯みがき指導やフッ素塗布を実施することができた。また、幼児健診の保健指導時にチラシを用いたり、健診会場に歯科に関するパネルを掲示し、時期に合わせた歯に関する啓発を行うことができた。 【実績値以外の事項に関する意見】 引き続き、幼児健診で歯磨き指導や口腔内の清潔について啓発していくとともに、個別相談や健康教室などの機会を通じて、虫歯を予防する食生活や生活リズム等について啓発していく。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値						令和4年度		令和4年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況		
20 小学校区単位で結成される自主防犯活動団体結成数【160】	まちづくり推進課	13団体	17団体	13団体	13団体	13団体				76.5%	□	【実績値に関する意見】 現在、市内17学区中、13学区で自主防犯活動団体が結成されている。引き続き、残りの小学校区に対して結成の支援を行っていく。 【実績値以外の事項に関する意見】 現在、自主防犯活動団体は13団体であるが、団体により活動の実態は様々で、また、残り4小学校区については、小学校区単位での団体結成は進まないものの、市内全体としては防犯意識は高く、指標自体の見直しを検討する必要があると感じている。
21 子ども110番の家の設置数【160】【163】	少年センター	2,069か所	2,236か所	2,083か所	2,066か所	2,057か所				92.0%	▼	【実績値に関する意見】 高齢化や空家等で廃止数が新規より上回っている。引き続き各学区の青少年育成協議会にて広報してもらい新規開拓を進めていく。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和5年度から、市民会議で行っていた年1回の訓練を「子ども110番の家」に関連した研修という形で15の学区(地区)で展開し、設置の意義等を広く啓発する。また、小学1年生の保護者に啓発チラシを配布し、周知とともに設置協力をお願いする。
22 ◎養育支援訪問件数【211】【219】	子育て支援課	1,253件	1,549件	1,028件	1,147件	1,566件				100.0%	○	【実績値に関する意見】 令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から家庭への訪問を控えていたが、令和4年度においては感染症対策を講じながら訪問を再開したことにより、養育支援訪問件数が増加したものの。 【実績値以外の事項に関する意見】 訪問することでしか確認や対応できないことも多くその効果は大きいですが、一方で、訪問する側・される側共にコストがかかることから、効果的な訪問や別の支援方法を検討していく必要がある。
23 乳児家庭全戸訪問率【149】【223】	健康推進課	98.0%	100.0%	65.9%	82.0%	80.2%				80.2%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症拡大のため、対面訪問は6~7月の1か月半のみしか実施できず、他の期間は子育てに関する情報等をポスティングした。そのため、昨年度より訪問の実績は下がってしまった。 【実績値以外の事項に関する意見】 引き続き、家庭の孤立を防ぎ、乳児の健全な育成環境の整備を図ることができるよう、訪問を実施していく。
5 すべての子どもが希望をもって成長できるまちづくり												
24 家庭支援推進保育士の配置【47】【117】	幼児課	11園	13園	11園	12園	13園				100.0%	○	【実績値に関する意見】 民間園が積極的に配置をしたことで、公立・民間合わせ13園に家庭支援推進保育士を配置できた。 【実績値以外の事項に関する意見】 各園および各園に配置している家庭支援推進保育士と関係機関との連携が円滑に進むよう地域連携推進員を1名配置し、支援にかかるコーディネートを行った。
25 就学援助認定基準の拡大【178】	学校教育課	生活保護の基準の1.2倍	拡大	継続	生活保護の基準の1.2倍	生活保護の基準の1.2倍				-	□	【実績値に関する意見】 就学援助の認定基準として、生活保護基準額に一定の係数(1.1~1.5倍)を掛けたものを設定している自治体が多い。中でも、彦根市のように「生活保護基準の1.2倍を超え、1.3倍以下」の基準を設定している自治体は最も多い。(令和4年度就学援助実施状況調査)。 【実績値以外の事項に関する意見】 生活保護基準は社会保障、税、教育などの施策の適応基準になっていることから、基準の拡大については他制度の状況を確認し検討する必要がある。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値						令和4年度		令和4年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況		
26 スクールソーシャルワーカーの配置 【183】【222】	学校支援・人権・ いじめ対策課	1名	2名	2名	2名	3名				100.0%	○	【実績値に関する意見】 スクールソーシャルワーカーを1名増員することができた。市内全ての小 中学校に派遣し、適切な見立てのもと、児童生徒への支援の充実を 図った。 【実績値以外の事項に関する意見】 引き続き、スクールソーシャルワーカーを窓口に関係機関等との連携に 努め、支援体制のさらなる充実を図っていきたい。
27 【再掲】 ◎地域での子どもの居場所の整備 (学べる場・子ども食堂) 【129】【197】	子ども・若者課	9か所	24か所	24か所	26か所	28か所				100.0%	○	【実績値に関する意見】 内訳：現在活動中の団体としては、学べる場11か所、子ども食堂17か所 の計28か所あり目標値には達成しているが活動地域に偏りがあり、子 どもの居場所の無い小学校区についての居場所の開拓については、引き 続き実施していく必要があると考えている。 【実績値以外の事項に関する意見】 物価高騰の影響により、子ども食堂等を開催するなかで表面化してい ない貧困世帯の増加も把握できた。子どもや若者を継続して支援できる仕 組みづくりのために、地域の企業や施設との連携、ネットワークづくりの 重要性を感じた。
28 若者の居場所の整備 【102】【199】	子ども・若者課	2か所	3か所	2か所	2か所	5か所				100.0%	○	【実績値に関する意見】 令和4年度において把握している若者の居場所は5か所となった。その うち、何らかの生きづらさを抱える当事者が立ち上げた居場所もあり、当 事者同士が思いを共有できる居場所として期待している。 【実績値以外の事項に関する意見】 若者の居場所が増え、当事者に合った居場所の選択肢が広がること につながった。
29 ひとり親家庭の子どもに対する学びと 食の支援による居場所参加人数 【200】	子育て支援課	12人	16人	6人	8人	5人				31.3%	▼	【実績値に関する意見】 令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策から食事の提供を実施し なかったこと等により参加人数が減少した。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和5年度からは食事の提供を再開し、参加対象者を中学生だけでなく 高校生等にまで広げることで参加人数の増加につなげたい。
30 子育て短期支援事業受入施設数 【38】【201】	子育て支援課	4か所	6か所	4か所	4か所	4か所				66.7%	□	【実績値に関する意見】 令和4年度は、フォスタリング機関こぼとの情報提供を得て、未登録の里 親に対して事業受入の可否について打診し、複数の里親から受け入れ に前向きな返答を得た。今後、調整を進め受け入れ可能な里親を増や していく。 【実績値以外の事項に関する意見】 年度により事業利用者数は大きな差があるが、増加傾向ではある。ま た、一定の利用ニーズもあることから、事業のあり方について検討して いく必要がある。
31 自立支援教育訓練給付・高等職業訓 練促進給付金受給者数(のべ人数) 【206】	子育て支援課	21人	52人	32人	35人	36人				69.2%	△	【実績値に関する意見】 講座受講後に補助金を支給する自立支援教育訓練補助金について令 和4年度の実績は1人であるが、現在受講中の申請者が6人おり、令和5 年度以降の実績となる見込みである。 【実績値以外の事項に関する意見】 引き続き、児童扶養手当の手続き等の際に就労状況の確認を行い、資 格取得が必要な方に対して、補助金の案内をしていく。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値						令和4年度		令和4年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況		
32 ひとり親家庭向け市営住宅の募集 【214】	建築住宅課	1件/年間	1件/年間	1件/年間	1件/年間	1件/年間				100.0%	○	【実績値に関する意見】 令和4年度もひとり親世帯向け住宅の募集を実施し、新規入居があった。ひとり親世帯からの一定のニーズがあることは募集期間内外で確認できているため、引き続き公営住宅の需給推移(空室状況)を注視しながら、ひとり親世帯の入居希望に対して支援を継続していく。 【実績値以外の事項に関する意見】 今後さらにひとり親世帯からの要望が増加した場合、ひとり親家庭向けの部屋には上限があるため、要望のすべてにお答えすることができない点についてどのような改善策があるかを検討していくことも必要である。
33 【再掲】 ◎彦根市子ども・若者支援地域協議会実務者会議の参加団体・機関等数 【再掲】 【3】【81】【82】	子ども・若者課	31団体	40団体	38団体	49団体	33団体				82.5%	△	【実績値に関する意見】 例年代表者会議1回、実務者会議を3回開催していたが、令和4年度については実務者会議を2回、個別ケース会議を1回開催したことから、昨年度よりも参加団体が減数したものの、当該対象者に対する支援方針の策定や役割分担の決定等を行うことができ、実りある会議を開催できた。 【実績値以外の事項に関する意見】 昨年度実施した当事者へのアンケート調査結果に基づき、就労体験の機会やSNSが利用できる支援の充実について検討する中で、軽作業などの中間的就労の開拓や、当事者が利用しやすい支援機関の情報発信方法について話し合った。また、情報共有するためには、当事者だけではなく支援者同士の交流の場の機会を作る必要性を感じた。
34 ◎地域資源を掘り起こし、育成する体制の構築 【230】	子ども・若者課	整備	構築	整備	整備	整備				-	□	【実績値に関する意見】 彦根市社協へ業務を委託している。地域の情報収集および一覧化595件、相談・支援体制の充実94件、ネットワーク形成47件、市民啓発・情報発信28件、仕組みづくり67件。 【実績値以外の事項に関する意見】 学校の長期休み期間のお弁当配布は定着化しつつあり、子どもの支援に携わるボランティア団体と行政が連携することに加え、昨年からは「はびとも基金」については、寄付額の2割まで寄付先を指定できるプチクラファン制度も創設された。子どもの幸せを応援する活動者と寄付者がつながることで、社会貢献活動をより身近に感じてもらい、地域で子どもを支えるネットワークの強化へとつながった。
6 教育・保育環境の整備												
35 利用者支援事業実施箇所数 【33】【43】【136】	子ども・若者課 健康推進課	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所				100.0%	○	【実績値に関する意見】 昨年度に引き続き彦根市福祉センターと彦根市くすのきセンターの2か所で子育て家庭や妊産婦がニーズに合わせて情報を提供する利用者支援事業を実施した。 【実績値以外の事項に関する意見】 福祉センターでは保育サービス等に関する相談、くすのきセンターでは母子保健等に関する相談を受けているが、適切な施設や事業等をスムーズに利用できるよう支援することで子育てのしやすい環境を整える。
36 放課後児童クラブ受入児童数 【71】～【74】	生涯学習課	1,393人	1,543人	1,652人	1,541人	1,501人				97.3%	△	【実績値に関する意見】 希望する児童をすべて受け入れることができた。感染症対策として早期に介入することによって感染拡大を抑止するためEBS事業にてPCR検査に引き続き取り組む等、様々な対策を講じながら休むことなく事業を継続できた。 【実績値以外の事項に関する意見】 長引くコロナ禍で、できる限りの対策を実施しながら保育を継続した。タブレット学習や緊急連絡アプリの活用、電子申請等、非接触の環境づくりを推進した。またコロナ禍でも児童の経験値が高められるようにオンラインでのけん玉大会や企業コラボのオンライン水族館ツアーでバックヤード見学を行う等、保育の工夫にも取り組んだ。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値						令和4年度		令和4年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況		
37 【再掲】 子育て短期支援事業受入施設数 【38】【201】	子育て支援課	4か所	6か所	4か所	4か所	4か所				66.7%	□	【実績値に関する意見】 令和4年度は、フォスタリング機関こぼとの情報提供を得て、未登録の里親に対して事業受入の可否について打診し、複数の里親から受け入れに前向きな返答を得た。今後、調整を進め受け入れ可能な里親を増やしていく。 【実績値以外の事項に関する意見】 年度により事業利用者数は大きな差があるが、増加傾向ではある。また、一定の利用ニーズもあることから、事業のあり方について検討していく必要がある。
38 【再掲】 乳児家庭全戸訪問の訪問割合 【149】【223】	健康推進課	98.0%	100.0%	65.9%	82.0%	80.2%				80.2%	▼	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症拡大のため、対面訪問は6～7月の1か月半のみしか実施できず、他の期間は子育てに関する情報等をポスティングした。そのため、昨年度より訪問の実績は下がってしまった。 【実績値以外の事項に関する意見】 引き続き、家庭の孤立を防ぎ、乳児の健全な育成環境の整備を図ることができるよう、訪問を実施していく。
39 【再掲】 養育支援訪問件数 【219】【228】	子育て支援課	1,253件	1,549件	1,028件	1,147件	1,566件				100.0%	○	【実績値に関する意見】 令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から家庭への訪問を控えていたが、令和4年度においては感染症対策を講じながら訪問を再開したことにより、養育支援訪問件数が増加したものの。 【実績値以外の事項に関する意見】 訪問することでしか確認や対応できないことも多くその効果は大きい一方、一方で、訪問する側・される側共にコストがかかることから、効果的な訪問や別の支援方法を検討していく必要がある。
40 【再掲】 地域子育て支援センターの整備 【34】【35】【39】	子ども・若者課	3か所	4か所	3か所	3か所	4か所				100.0%	○	【実績値に関する意見】 三津町の認定こども園ひかりの森内に地域子育て支援センター「さんさんひろば」を新たに開設し、彦根市子ども・若者プランで掲げていた地域子育て支援センターを4か所開設するという目標を達成することができた。 【実績値以外の事項に関する意見】 新型コロナウイルス感染症予防対策のため利用者の人数制限を行っていたが、令和3年度よりも警戒ステージレベルは全体的に低く、ウィズコロナの浸透もあり、令和3年度に比べて利用者数が増加した。
41 保育所における一時預かり事業の実施 【53】	幼児課	15園	18園	10園	13園	16園				88.9%	△	【実績値に関する意見】 新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度まで休止していた園が再開したこと、新設園の実施もあり、昨年度と比べて実施園数が回復した。 【実績値以外の事項に関する意見】 利用児童数が園によって大きく違うことから、地域ニーズに応じ実施園を集約するなどの検討が必要である。
42 病児・病後児保育事業の利用人数 【37】	幼児課	564人	660人	202人	454人	535人				81.1%	▼	【実績値に関する意見】 令和2年度は新型コロナウイルス感染症により利用者が大きく減少していましたが、令和3年度に利用者が回復し、令和4年度は、プラン当初の利用人数まで回復している。 【実績値以外の事項に関する意見】 令和4年度に保育所等を利用する保護者向けアンケート(回答数596件)では、事業を認知しているものの今まで利用したことがない方は約6割おられ、施設利用に対する不安感や利用の仕方がわからないなどの声があった。より安心して利用してもらえるよう周知する。

分野と指標	担当課	現況 平成30年度	目標値 令和6年度	実績値					令和4年度		令和4年度実績値等に対する担当課意見
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率 (%)	達成 状況	
43 ファミリー・サポート・センター提供会 員の確保 【42】	子ども・若者課	181人	194人	170人	155人	154人			79.4%	▼	【実績値に関する意見】 育児の援助を行う提供会員に新たに5人の方が登録されたが、退会となった会員が6人いたため、全体的にやや減少という結果になった。ただし、提供会員が見つからないために育児援助の依頼を断ることはなかった。 【実績値以外の事項に関する意見】 今後も会員増加を図るために、会員向け活動および事業の周知等を積極的に行う。
44 妊婦健康診査 受診回数 【133】	健康推進課	10,851回	13,300回	9,553回	9,026回	9,006回			67.7%	▼	【実績値に関する意見】 母子手帳交付時の面接で妊婦健診について説明をし、妊婦健康診査受診券を発行しているが、月平均60件前後の妊娠届出数で年々減少傾向である。それに伴って妊婦健康診査受診回数も減少している。 【実績値以外の事項に関する意見】 年々妊娠届出数、出生数が減っており、少子化対策等の充実が必要と思われる。
計画目標値の達成率									85.3%		

※分野と指標の下の数字【】は、「彦根市子ども・若者プラン(第2期)」の第4章施策の展開に掲載されている施策の番号になります。

※達成率は、(令和4年度状況÷目標値)を%で表したものです。また、100%を超える場合は、100%としています。計算式が異なる場合は「-」としています。

※達成状況は、目標値が達成できた場合は○、目標値は達成できなかったが現況値よりも改善された指標は△、現況値から変更が無かった指標は□、現況値よりも後退した指標は▼としています。